

会 議 要 旨

会議名	館山市図書館協議会
開催日	令和元年 7月16日(火)
開催場所	館山市図書館
出席者	委員：大西純夫、眞田滋子、生稲裕美、齋藤 実 押本正道、関 和美、波佐間美和子 教育委員会：出山教育長、櫻井生涯学習課長 渡邊図書館長、飯田管理係長、高橋主任司書 行革財政課：栗林行財政改革係長
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 一部非公開 非公開
非公開の場合の理由	
傍聴者	3名
会議概要・結果等	<p>○辞令交付</p> <p>○委員・職員紹介</p> <p>○議長・副議長選出 議長選出：大西純夫委員 副議長選出：齋藤実委員</p> <p>○議事 事務局より説明</p> <ol style="list-style-type: none">1. 図書館の概要について2. 平成30年度事業報告について3. 令和元年度事業計画について4. 指定管理者制度の導入について <p>質問・意見等 〈令和元年度事業計画について〉</p> <p>○館山市図書館の今年度のテーマはどのようなものか。 →学校からの団体貸出や図書館員の出張要望が増えているところから、学校支援に力を入れていきたい。</p> <p>〈指定管理者制度の導入について〉 5月に実施した指定管理者制度導入済の茂原市立図書館視察についての報告を含め各委員から意見等が出された。</p> <p>○新規事業は増えているが、単に指定管理者の導入だけでなく、総合カウンター方式や図書館の移転によるスペースの問題等の影響があると思われる。地域性、郷土史への関心等は弱いと感じた。 図書館にどういう役割があるのか、何のために図書館があるの</p>

かが大切であり、市民にとってどういう図書館が存在すべきかが優先されなくてはならない。いいものは踏襲していき、新しいものは取り入れていくことが大事である。

○日々の業務は充実しているという印象を受けた。指定管理者と市側の図書館担当との連携が大切だと考える。

○学校が今までと同様にバックアップを受けられるかどうか不安がある。

○司書職が別の業務に就くのは、人的資源の損失につながる。また、もし指定管理者が駄目だった時に、元に戻せるのかも心配である。

○小学校でも調べ物は、ほとんどインターネットを利用している状況であるが、朝読書や読み聞かせなどを行っており、物語を読むことや読書習慣をつけるという意味でも、本は大切だと感じている。子どもたちは移動図書館をととても楽しみにしており、非常に活用している。学校支援については、今後も維持してほしい。

結果

□ 指定管理者制度の導入については、もう一度意見を出し合い、協議会としてどうすればよいかを考え、市民の意見として挙げていきたいので、近日中に改めて会議を開催することに決定。